

風しん予防接種について

1 予防接種の効果について

予防接種は、感染症の感染、発症、重症化の予防や、感染の拡大を防止するために行われています。予防接種を受けたかたの多くが、その疾病に対する免疫を獲得しますが、100%ではありません。

2 予防接種後の副反応について

接種後に、軽い副反応がみられることがあり、極めて稀ですが、重い副反応がおこることがあります。

副反応の主なものは、発熱やじんましん、発疹があり、これらの症状は接種後 13 日以内に多く出ます。なお、接種直後から数日中に過敏症状と考えられる発熱、発疹、そう痒（かゆみ）などがでることがありますが、1～3 日で治ります。

ごくまれにアナフィラキシー様症状、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどの重い副反応が起こることがあります。

※紛れ込み反応：予防接種を受けたしばらく後に何らかの症状が出現すれば、予防接種が原因ではないかと疑われることがあります。しかし、たまたま同じ時期に発症した他の感染症などが原因であることが明らかになることもあります。これを「紛れ込み反応」と言います。

3 ワクチン接種による健康被害の救済制度について

万が一重篤な健康被害が生じた場合に、ワクチン接種によるものと認定されたときは、独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）が実施する医薬品副作用被害救済制度により、健康被害救済の申請ができます。給付申請の必要が生じた場合には、予防接種を受けた医療機関へご相談ください。この制度は、予防接種法に基づく定期の予防接種による健康被害救済制度の補障内容とは異なります。

4 次のかたは接種できません

- ・明らかに発熱（通常 37.5℃以上）しているかた
- ・重い急性疾患にかかっているかた
- ・風しんおよび麻しん風しんワクチンの成分によりアナフィラキシー（重いアレルギー反応）を起こしたことがあるかた
- ・免疫機能に異常のあるかた・免疫抑制をおこす治療を受けているかた
- ・妊娠しているかたおよび妊娠している可能性のあるかた
- ・その他医師に予防接種を行うことが不適當であると判断されたかた

5 接種後の注意

- ・予防接種を受けたあと 30 分間は、副反応が出るおそれがあるので、医師とすぐに連絡を取れるようにしておきましょう。
- ・接種後 1 週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ・接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ・当日は、はげしい運動はさけましょう。
- ・接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。